

転倒・転落シンポジウム

転倒・転落を問い直す

— 多職種で考えるこれからの実践と課題 —

プログラム

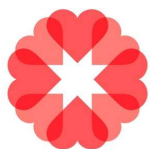
日時:2026年7月26日(日)13:00-16:10

会場:学研ホール 東京都品川区西五反田二丁目11番8号学研ビル3F
(Zoom ウェビナーによるライブ配信視聴でも参加可能です)

開始時間

12:30	開場	
13:00	総司会	杉山 良子 (医療安全全国共同行動 企画委員)
	開会挨拶	小泉 俊三 (医療安全全国共同行動 議長)
13:05	基調講演	座長:荒井 有美 (患者安全行動計画 6 部会 代表委員/北里大学病院 医療安全推進室 副室長 医療安全管理者)
		転倒・転落の多様性について考える
		講師:辰巳 陽一 (医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院 医療安全管理部 部長 /徳洲会グループ本部 医療安全管理部門 顧問/近畿大学医学部・近畿大学病院 客員教授)
13:55	休憩	
14:00	シンポジウム	座長:荒井有美 黒川美知代 (患者安全行動計画 6 部会 副代表/日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部 参事)
		現場の実践と工夫から多面的に考える
14:00	演題 1	損傷を伴う転倒・転落を減らすために ～ 医師の立場からみた組織的対策 ～ (仮) 内山勝文 (北里大学病院 医師)
14:15	演題 2	『転倒させない』から『安全に転ぶ』ことへの転換 ～ 転倒による損傷を防ぎ、ADL を維持するアプローチ～ 赤城香 (公立西知多総合病院 看護師)
14:30	演題 3	多職種で取り組む転倒転落対策ラウンドの取り組み ～ 患者の自立支援を目指して～ 大久保勇紀 (伊奈病院 理学療法士)
14:45	演題 4	転倒予防における患者・家族教育の今 ～ 全国調査から見えた実践と課題 ～ (仮) 別所文彦 (新行橋病院 看護師)
15:00	演題 5	ペイシェントジャーニーから考える、転倒・転落予防に おける患者家族参画 田中和美 (群馬大学医学部附属病院 医師)
15:15	休憩	
15:30	総合討論	
16:00	閉会挨拶	栗原健 (医療安全全国共同行動 患者安全行動計画推進部会 部長)

本件に関するお問い合わせ先



いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

一般社団法人 医療安全全国共同行動 事務局

〒113-0033

東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル2階

TEL: 03-6240-0893 Fax: 03-6240-0894

E-Mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp



医療安全全国共同行動
ホームページ